

注3

大学番号：私275

[平成31年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

九州共立大学 経済学部 地域創造学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人福原学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 原 田 祐 一

電話番号 093-693-3005

（夜間） 093-693-3005

F A X 039-603-8186

e-mail soumu@kyukyo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

経済学部

<地域創造学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2. 授業科目の概要 . . . . .	5
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	11
4. 既設大学等の状況 . . . . .	12
5. 教員組織の状況 . . . . .	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	33
7. その他全般的事項 . . . . .	34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人福原学園

## (2) 大学名

九州共立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒807-8585

福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1番8号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( フクハラ キミコ ) 福原 公子 (平成27年6月)	—	—
学長	( オクダ トシヒロ ) 奥田 俊博 (平成27年6月)	—	—
学部長	( シライシ シノブ ) 白石 忍 (平成27年4月)	—	—
学科長等	( ニシオ エリコ ) 西尾 恵里子 (平成31年4月)	—	—

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください）。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 地域創造学科 学士（経済学）	経済学関係	4年	100人	— 年次 — 人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	100人 ( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	0.4倍	— 倍	合格者には、スポーツ学部スポーツ学科からの第2志望者を含む
志願者数	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	91 ( — ) [ — ]	( — ) [ — ]			
受験者数	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	89 ( — ) [ — ]	( — ) [ — ]			
合格者数	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	91 ( — ) [ — ]	( — ) [ — ]			
B 入学者数	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	( — ) [ — ]	40 ( — ) [ — ]	( — ) [ — ]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		0.4				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	40 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2 年次	/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3 年次			/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
4 年次	/				/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
計			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	40 [ - ] ( - )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( ) 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	40 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計	40 人	0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

＜経済学部 地域創造学科＞

### (1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合共通科目	福原学	1前	1			6	3	4				
	文化・芸術領域	ことばと日本文化	1・2前・後	2								6
		スポーツの文化	1・2前・後	2								1
		ことばと異文化	1・2前・後	2								4
		情報文化論	1・2前・後	2								1
		歴史と国際情勢	1・2前・後	2								2
	歴史・社会領域	現代国家と法(日本国憲法)	1・2前・後	2								2
		暮らしと経済	1・2前・後	2								1
		人権・同和教育	1・2前・後	2					1			1
		人間と哲学	1・2前・後	2								1
		生命と地球	1・2前・後	2								3
	人間・環境領域	心の科学	1・2前・後	2								2
		共生社会を生きる	1・2前・後	2					1			
日本語表現法 I		1前・後	1								2	
言語・異文化理解科目	日本語表現法 II	2前・後	1								2	
	伝わる文章力	2前・後	1								1	
	英語 I	1前	1			1	1					
	英語 II	1後	1			1	1					
	英語コミュニケーション I	2前	1				1				1	
	英語コミュニケーション II	2後	1				1				1	
	TOEIC入門	1前・後	1								1	
	ドイツ語 I	1前	1								1	
	ドイツ語 II	1後	1								1	
	中国語 I	1前	1								2	
中国語	中国語 II	1後	1								2	
	韓国語 I	1前	1								1	
韓国語	韓国語 II	1後	1								1	
	イングリッシュワークショップ	1前・後	1			1					3	
海外研修	1・2・3前・後・4前	2								1		
情報教育科目	情報処理演習 I	1前	1					1			1	
	情報処理演習 II	1後	1					1			1	
	情報処理演習 III	2前	1								1	
	情報処理演習 IV	2後	1								1	
健康教育科目	スポーツA	1前	1								3	
	スポーツB	1後	1								3	
	健康の科学	1・2前・後	2								2	
キャリア教育領域	職業とコミュニケーション	1後	1			6	3	4				
	キャリアデザイン I	2通	1			1	1				1	
	キャリアデザイン II	3前	1			1	1				1	
	キャリアデザイン III	3後	1			1	1				1	
	インターンシップ(企業研修)	2前・後	2								1	
	スキルアップ講座A	3後	1					1				
	スキルアップ講座B	2前	1								1	
	スキルアップ講座C	2後	1								1	
	スキルアップ講座G	3前	1			1						
	スキルアップ講座H	3後	1			1						
スキルアップ講座R	3前	1								1		
スキルアップ講座S	3後	1								1		
小計(48科目)	—	—	11	52	0	17	12	17	0	0	63	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合共通科目	福原学	1前	1			6	3	4					
	文化・芸術領域	ことばと日本文化	1・2前・後	2								3	
		スポーツの文化	1・2前・後	2								1	
		ことばと異文化	1・2前・後	2								4	
		情報文化論	1・2前・後	2								1	
		歴史と国際情勢	1・2前・後	2								1	
	歴史・社会領域	現代国家と法(日本国憲法)	1・2前・後	2								1	
		暮らしと経済	1・2前・後	2						1		1	
		人権・同和教育	1・2前・後	2								1	
		人間と哲学	1・2前・後	2								1	
		生命と地球	1・2前・後	2								2	
	人間・環境領域	心の科学	1・2前・後	2								2	
		共生社会を生きる	1・2前・後	2						1			
日本語表現法 I		1前・後	1								1		
言語・異文化理解科目	日本語表現法 II	2前・後	1								2		
	伝わる文章力	2前・後	1								1		
	英語 I	1前	1			1	1		1				
	英語 II	1後	1			1	1		1				
	英語コミュニケーション I	2前	1						1		1		
	英語コミュニケーション II	2後	1						1		1		
	TOEIC入門	1前・後	1						1		1		
	ドイツ語 I	1前	1								2		
	ドイツ語 II	1後	1								2		
	中国語 I	1前	1								2		
中国語	中国語 II	1後	1								2		
	韓国語 I	1前	1								2		
韓国語	韓国語 II	1後	1								2		
	イングリッシュワークショップ	1前・後	1			1					2		
海外研修	1・2・3前・後・4前	2								0			
情報教育科目	情報処理演習 I	1前	1					1			0		
	情報処理演習 II	1後	1					1			0		
	情報処理演習 III	2前	1								1		
	情報処理演習 IV	2後	1								1		
健康教育科目	スポーツA	1前	1								4		
	スポーツB	1後	1								4		
	健康の科学	1・2前・後	2								1		
キャリア教育領域	職業とコミュニケーション	1後	1			6	3	4			3		
	キャリアデザイン I	2通	1			1	1				1		
	キャリアデザイン II	3前	1			1	1				1		
	キャリアデザイン III	3後	1			1	1				1		
	インターンシップ(企業研修)	2前・後	2								1		
	スキルアップ講座A	3後	1						1				
	スキルアップ講座B	2前	1								0		
	スキルアップ講座C	2後	1								0		
	スキルアップ講座G	3前	1			1							
	スキルアップ講座H	3後	1			1							
スキルアップ講座R	3前	1								1			
スキルアップ講座S	3後	1								1			
小計(48科目)	—	—	11	52	0	17	12	18	12	18	0	0	55

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
留 学 生 特 別 科 目	初級日本語ⅠA	1前・後	2								2
	初級日本語ⅠB	1前・後	2								1
	初級日本語ⅠC	1前・後	2								1
	初級日本語ⅠD	1前・後	2								1
	初級日本語ⅠE	1前・後	2								1
	初級日本語ⅡA	1前・後	2								1
	初級日本語ⅡB	1前・後	2								1
	初級日本語ⅡC	1前・後	2								1
	初級日本語ⅡD	1前・後	2								1
	初級日本語ⅡE	1前・後	2								1
	中級日本語Ⅰ	1前	1								3
	中級日本語Ⅱ	1後	1								3
	上級日本語Ⅰ	2前	1								3
	上級日本語Ⅱ	2後	1								3
	スキルアップ講座N	3・4前	1								2
スキルアップ講座O	3・4後	1								2	
スキルアップ講座P	3・4前	1								1	
スキルアップ講座Q	3・4後	1								1	
小計(18科目)		—	0	28	0	0	0	0	0	0	29
専 門 教 育 科 目	経営学概論	1前	2								1
	経済学概論	1後	2			1					
	統計学入門	2前	2					1			
	統計学	2後	2								1
	マクロ経済学	2後	2			1					
	ミクロ経済学	2後	2								1
	日本経済史	2後	2								1
	KKU北九州学	1前	2			1					
	簿記入門	1前	2					1			
	簿記入門演習	1前	2		1	1	1				
	初級簿記	1後	2					1			
	初級簿記演習	1後	2			1	1	1			
	地域貢献概論	1後	2			1					
	地域のまちづくり入門	2前	2					1			
	民法	2前	2								1
人口学	2前	2			1						
社会調査法	2前	2								1	
ビジネスとICT	2後	2					1				
社会調査法演習	2後	2								1	
おもてなし総論	3前	2			1						
地域経済論	3前	2								1	
質的調査法	3前	2					1				
地域協働論	3後	2			1						
ソーシャルビジネス論	3後	2			1						
財政学	2前	2								1	
地域のまちづくり	2後	2					1				
地域環境政策論	3前	2			1						
行政法	3前	2								1	
地方自治体の財政	3前	2			1						
公共経済学	3前	2			1						
地域の教育と文化	3後	2			1						
地域リーダー育成演習	3後	2			1	1					
社会保障論	3後	2								1	
経済政策	4前	2			1						
地域の健康福祉	4後	2								1	
会社法	2前	2								1	
経済史	2後	2								1	
経営管理論	3前	2								1	
金融論	3前	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
留 学 生 特 別 科 目	初級日本語ⅠA	1前・後	2									3
	初級日本語ⅠB	1前・後	2									1
	初級日本語ⅠC	1前・後	2									2
	初級日本語ⅠD	1前・後	2									1
	初級日本語ⅠE	1前・後	2									1
	初級日本語ⅡA	1前・後	2									2
	初級日本語ⅡB	1前・後	2									1
	初級日本語ⅡC	1前・後	2									2
	初級日本語ⅡD	1前・後	2									1
	初級日本語ⅡE	1前・後	2									1
	中級日本語Ⅰ	1前	1									3
	中級日本語Ⅱ	1後	1									3
	上級日本語Ⅰ	2前	1									3
	上級日本語Ⅱ	2後	1									3
	スキルアップ講座N	3・4前	1									2
スキルアップ講座O	3・4後	1									2	
スキルアップ講座P	3・4前	1									1	
スキルアップ講座Q	3・4後	1									1	
小計(18科目)		—	0	28	0	0	0	0	0	0	0	33
専 門 教 育 科 目	経営学概論	1前	2									1
	経済学概論	1後	2					1				
	統計学入門	2前	2							1		
	統計学	2後	2									1
	マクロ経済学	2後	2			1						
	ミクロ経済学	2後	2									1
	日本経済史	2後	2									1
	KKU北九州学	1前	2					1				
	簿記入門	1前	2									
	簿記入門演習	1前	2		1	1	1					
	初級簿記	1後	2					1				
	初級簿記演習	1後	2			1	1	1				
	地域貢献概論	1後	2			1						
	地域のまちづくり入門	2前	2					1				
	民法	2前	2									1
人口学	2前	2			1							
社会調査法	2前	2									1	
ビジネスとICT	2後	2					1					
社会調査法演習	2後	2									1	
おもてなし総論	3前	2			1							
地域経済論	3前	2									1	
質的調査法	3前	2					1					
地域協働論	3後	2			1							
ソーシャルビジネス論	3後	2			1							
財政学	2前	2									1	
地域のまちづくり	2後	2					1					
地域環境政策論	3前	2			1							
行政法	3前	2									1	
地方自治体の財政	3前	2			1							
公共経済学	3前	2			1							
地域の教育と文化	3後	2			1							
地域リーダー育成演習	3後	2			1	1						
社会保障論	3後	2									1	
経済政策	4前	2			1							
地域の健康福祉	4後	2									1	
会社法	2前	2									1	
経済史	2後	2									1	
経営管理論	3前	2									1	
金融論	3前	2			1							



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	流通管理論	3前		2							1	
	地域経済コース科目 事業創造論	3前		2							1	
	経営戦略論	3後		2							1	
	マーケティング論	3後		2							1	
	事業創造演習	3後		2							1	
	ゲーム理論	4前		2		1						
	経営組織論	4後		2					1			
	地域創造実習Ⅰ	1前	1			2	3	3				
	地域創造実習Ⅱ	1後	1			2	3	3				
	地域創造実習Ⅲ	2前	1			2	3	3				
	地域創造実習Ⅳ	2後	1			2	3	3				
	地域創造実習Ⅴ	3前		1		2	3	3				
	地域創造実習Ⅵ	3後		1		2	3	3				
	地域調査実習Ⅰ	4前		1				1				
	地域調査実習Ⅱ	4後		1				1				
	地域ワークショップ	2・3・4前・後		2					2			
	職業研修A	2・3・4前・後		2		2						
	職業研修B	2・3・4前・後		2		2						
	チャレンジA	2前		2			2	1				
	チャレンジB	2前		2			2	1				
	チャレンジC	2後		2		1		2				
	チャレンジD	2後		2				3				
海外地域学研修	2・3・4前・後		2			1	1					
地域創造ゼミナールⅠ	1前		2		4		1					
地域創造ゼミナールⅡ	1後		2		4		1					
地域創造ゼミナールⅢ	2前		2		4		1					
地域創造ゼミナールⅣ	2後		2		4		1					
地域創造ゼミナールⅤ	3前		2		4		1					
地域創造ゼミナールⅥ	3後		2		4		1					
地域創造ゼミナールⅦ	4通		4		6	3	4					
小計(69科目)			—	42	90	0	65	31	48	0	0	20
自由 選択 科目	文章理解	1前・後		1							1	
	社会科学【基礎】	1前		1							1	
	人文・自然科学【基礎】	1後		1							2	
	数的処理Ⅰ	1前		1							1	
	数的処理Ⅱ	1後		1							1	
	数的処理Ⅲ	2前		1							1	
	社会科学【応用Ⅰ】	2前		1							1	
	社会科学【応用Ⅱ】	2後		1							1	
	教養基礎答練Ⅰ	2前		1							4	
	教養基礎答練Ⅱ	2後		1							4	
	(K-CIP)憲法演習	2前		1							1	
	(K-CIP)民法(総則・物権)演習	2前		1							1	
	(K-CIP)民法(債権・親族・相続)演習	2後		1							1	
	(K-CIP)行政法演習	2後		1							1	
	(K-CIP)ミクロ経済学演習	2前		1							1	
	(K-CIP)マクロ経済学演習	2後		1							1	
	(K-CIP)労働法演習	3前・後		1							1	
	(K-CIP)刑法演習	3前・後		1							1	
	(K-CIP)財政学・経済事情演習	3前・後		1							1	
	(K-CIP)行政学・経営学演習	3前・後		1							1	
	(K-CIP)政治学演習	3前・後		1							1	
	(K-CIP)国際関係演習	3前・後		1							1	
	(K-CIP)社会学・社会事情演習	3前・後		1							1	
	(K-CIP)会計学演習	3前・後		1							1	
	(K-CIP)教養科目演習(公安職Ⅰ)	3前		4							4	
	(K-CIP)教養科目演習(公安職Ⅱ)	3後		4							4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 教育 科目	流通管理論	3前		2							1		
	地域経済コース科目 事業創造論	3前		2							1		
	経営戦略論	3後		2							1		
	マーケティング論	3後		2							1		
	事業創造演習	3後		2							1		
	ゲーム理論	4前		2		1							
	経営組織論	4後		2					1				
	地域創造実習Ⅰ	1前	1			2	3	3		2			
	地域創造実習Ⅱ	1後	1			2	3	3		2			
	地域創造実習Ⅲ	2前	1			2	3	3		3			
	地域創造実習Ⅳ	2後	1			2	3	3		3			
	地域創造実習Ⅴ	3前		1		2	3	3		3			
	地域創造実習Ⅵ	3後		1		2	3	3		3			
	地域調査実習Ⅰ	4前		1				1					
	地域調査実習Ⅱ	4後		1				1					
	地域ワークショップ	2・3・4前・後		2					2				
	職業研修A	2・3・4前・後		2		2							
	職業研修B	2・3・4前・後		2		2							
	チャレンジA	2前		2			2	1					
	チャレンジB	2前		2			2	1					
	チャレンジC	2後		2		1		2		2			
	チャレンジD	2後		2				3			3		
海外地域学研修	2・3・4前・後		2				1		1	1			
地域創造ゼミナールⅠ	1前		2		4		1						
地域創造ゼミナールⅡ	1後		2		4		1						
地域創造ゼミナールⅢ	2前		2		4		1						
地域創造ゼミナールⅣ	2後		2		4		1						
地域創造ゼミナールⅤ	3前		2		4		1						
地域創造ゼミナールⅥ	3後		2		4		1						
地域創造ゼミナールⅦ	4通		4		6	3	4						
小計(69科目)			—	42	90	0	65	31	48	46	0	0	20
自由 選択 科目	文章理解	1前・後		1							1		
	社会科学【基礎】	1前		1							1		
	人文・自然科学【基礎】	1後		1							2		
	数的処理Ⅰ	1前		1							1		
	数的処理Ⅱ	1後		1							1		
	数的処理Ⅲ	2前		1							1		
	社会科学【応用Ⅰ】	2前		1							1		
	社会科学【応用Ⅱ】	2後		1							1		
	教養基礎答練Ⅰ	2前		1							4		
	教養基礎答練Ⅱ	2後		1							4		
	(K-CIP)憲法演習	2前		1							1		
	(K-CIP)民法(総則・物権)演習	2前		1							1		
	(K-CIP)民法(債権・親族・相続)演習	2後		1							1		
	(K-CIP)行政法演習	2後		1							1		
	(K-CIP)ミクロ経済学演習	2前		1							1		
	(K-CIP)マクロ経済学演習	2後		1							1		
	(K-CIP)労働法演習	3前・後		1							1		
	(K-CIP)刑法演習	3前・後		1							1		
	(K-CIP)財政学・経済事情演習	3前・後		1							1		
	(K-CIP)行政学・経営学演習	3前・後		1							1		
	(K-CIP)政治学演習	3前・後		1							1		
	(K-CIP)国際関係演習	3前・後		1							1		
	(K-CIP)社会学・社会事情演習	3前・後		1							1		
	(K-CIP)会計学演習	3前・後		1							1		
	(K-CIP)教養科目演習(公安職Ⅰ)	3前		4							4		
	(K-CIP)教養科目演習(公安職Ⅱ)	3後		4							4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自由選択科目	(K-CIP)教養科目演習(行政職)	3前		1							4
	(K-CIP)専門科目演習(行政職)	3後		1							2
	(K-CIP)SPI演習(行政職Ⅰ)	3前		2							1
	(K-CIP)SPI演習(行政職Ⅱ)	3後		2							1
	(K-CIP)専門科目記述式演習(行政職)	3後		1							1
	(K-CIP)一次対策(直前模試)	4前		1							1
	(K-CIP)二次対策	4前		1							1
小計(33科目)		—	0	41	0	0	0	0	0	0	50
自由科目	キャリアコンサルティングⅠ	3前・休			2	1					1
	キャリアコンサルティングⅡ	3前・休			2						2
	キャリアコンサルティングⅢ	3後・休			2		1				1
	キャリアコンサルティングⅣ	3後・休			2						2
	キャリアコンサルティング演習Ⅰ	3前・休			2	1					1
	キャリアコンサルティング演習Ⅱ	3前・休			2						2
	キャリアコンサルティング演習Ⅲ	3後・休			2		1				1
キャリアコンサルティング演習Ⅳ	3後・休			2	1					1	
小計(8科目)		—	0	0	16	1	1	0	0	0	11
合計(176科目)		—	53	211	16	6	3	4	0	0	64
卒業要件及び履修方法											
総合共通科目30単位以上、専門教育科目76単位以上、自由選択科目18単位以上の合計124単位以上を修得すること。 なお、自由選択科目には、自学科で履修した卒業要件単位数を超える科目及び他学科・他学部、又は自学科の他コースで履修した科目を含む。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自由選択科目	(K-CIP)教養科目演習(行政職)	3前		1							4
	(K-CIP)専門科目演習(行政職)	3後		1							2
	(K-CIP)SPI演習(行政職Ⅰ)	3前		2							1
	(K-CIP)SPI演習(行政職Ⅱ)	3後		2							1
	(K-CIP)専門科目記述式演習(行政職)	3後		1							1
	(K-CIP)一次対策(直前模試)	4前		1							1
	(K-CIP)二次対策	4前		1							1
小計(33科目)		—	0	5	0	0	0	0	0	0	50
自由科目	キャリアコンサルティングⅠ	3前・休			2	1					1
	キャリアコンサルティングⅡ	3前・休			2						2
	キャリアコンサルティングⅢ	3後・休			2		1				1
	キャリアコンサルティングⅣ	3後・休			2						2
	キャリアコンサルティング演習Ⅰ	3前・休			2	1					1
	キャリアコンサルティング演習Ⅱ	3前・休			2						2
	キャリアコンサルティング演習Ⅲ	3後・休			2		1				1
キャリアコンサルティング演習Ⅳ	3後・休			2	1					1	
小計(8科目)		—	0	0	16	1	1	0	1	1	11
合計(176科目)		—	53	211	16	6	3	4	0	0	68
卒業要件及び履修方法											
総合共通科目30単位以上、専門教育科目76単位以上、自由選択科目18単位以上の合計124単位以上を修得すること。 なお、自由選択科目には、自学科で履修した卒業要件単位数を超える科目及び他学科・他学部、又は自学科の他コースで履修した科目を含む。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員の退職による担当者の変更及び専任教員の育児休業による配置人数の変更「福原学」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「ことばと日本文化」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「歴史と国際情勢」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「現代国家と法（日本国憲法）」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の追加「暮らしと経済」</li> <li>・専任教員の育児休業による担当者の変更「人権・同和教育」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「生命と地球」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「日本語表現法Ⅰ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「英語Ⅰ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「英語Ⅱ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「英語コミュニケーションⅠ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「英語コミュニケーションⅡ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「TOEIC入門」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の追加「ドイツ語Ⅰ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の追加「ドイツ語Ⅱ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「中国語Ⅰ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「中国語Ⅱ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「韓国語Ⅰ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「韓国語Ⅱ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「イングリッシュワークショップ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「海外研修」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「情報処理演習Ⅰ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「情報処理演習Ⅱ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更及び追加「スポーツA」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更及び追加「スポーツB」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「健康の科学」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更及び専任教員の育児休業による配置人数の変更「職業とコミュニケーション」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の所属変更（兼任教員から専任教員へ変更）「スキルアップ講座B」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の所属変更（兼任教員から専任教員へ変更）「スキルアップ講座C」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「初級日本語ⅠA」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「初級日本語ⅠC」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「初級日本語ⅡA」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「初級日本語ⅡC」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「中級日本語Ⅰ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更及び専任教員の育児休業による配置人数の変更「地域創造実習Ⅰ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更及び専任教員の育児休業による配置人数の変更「地域創造実習Ⅱ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「地域創造実習Ⅲ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「地域創造実習Ⅳ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「地域創造実習Ⅴ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「地域創造実習Ⅵ」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「チャレンジC」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「チャレンジD」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「海外地域学研修」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「地域創造ゼミナールⅦ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「人文・自然科学【基礎】」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「数的処理Ⅰ」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「数的処理Ⅱ」</li> </ul>
---

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
33 科目	135 科目	8 科目	176 科目	33 科目 [ 0 ]	135 科目 [ 0 ]	8 科目 [ 0 ]	176 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{176} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	56,190.93㎡	— ㎡	— ㎡	56,190.93㎡				
	運動場用地	94,242.89㎡	— ㎡	— ㎡	94,242.89㎡				
	小 計	150,433.82㎡	— ㎡	— ㎡	150,433.82㎡				
	そ の 他	115,977.26㎡	— ㎡	— ㎡	115,977.26㎡				
	合 計	266,411.08㎡	— ㎡	— ㎡	266,411.08㎡				
(2) 校舎	専 用	62,584.37㎡	— ㎡	— ㎡	62,584.37㎡				
	( 62,584.37㎡)	( — ㎡)	( — ㎡)	( — ㎡)	( 62,584.37㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	55室	22室	10室	7室 (補助職員 1人)	2室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	経済学部 地域創造学科			13 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体 該当学科単位での特定不能なため、大学全体の数 図書・視聴覚資料の購入が増えたこと及び学術雑誌については、学術リポジトリで閲覧及びダウンロードが可能であるため、他大学紀要を削除したことにより変更した(元)	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					[うち外国書]
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	経済学部 地域創造学科	230,799 [52,239] (227,918 [51,987]) (255,717 [51,964])	4,396 [1,207] (3,747 [1,190]) (4,396 [1,207])	20 [20] (17 [17])	2,399 <del>2,380</del> (2,399) (2,380)	( )	( )		
計	230,799 [52,239] (227,918 [51,987]) (255,717 [51,964])	4,396 [1,207] (3,747 [1,190]) (4,396 [1,207])	20 [20] (17 [17])	2,399 <del>2,380</del> (2,399) (2,380)	( )	( )			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	4,933.31㎡		431		236,000				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	15,971.02㎡		野球場1面、サブ野球場1面、人工芝サッカー場1面、人工芝ラグビー場1面、人工芝多目的コート1面、第3種公認陸上競技場1面、投擲場1面、テニスコート5面、ウェイト場、トレーニング室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	保険料等その他の諸経費は含まない
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	— 千円	50千円	50千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,050千円	850千円	850千円	850千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入、雑収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	九州共立大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
経済学部						0.91			-	
経済・経営学科	4	300	-	1200	学士 (経済学)	0.98	平成31	平成21	福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	定員変更 (△100)
地域創造学科	4	100	-	400	学士 (経済学)	0.40	平成31	平成31	同上	定員変更 (100)
スポーツ学部						1.15	-		-	
スポーツ学科	4	250	-	1000	学士 (スポーツ学)	1.15	-	平成18	福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	
大学全体	4	650	-	2600	-	1.00	-	-	-	
大学の名称	九州共立大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
スポーツ学研究科										
スポーツ学専攻	2	5	-	10	修士 (スポーツ学)	0.60	平成30	平成30	福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	
大学院全体	2	5	-	10	-	0.60	-	-	-	
大学の名称	九州女子大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
家政学部						0.99	-			
人間生活学科	4	130	-	520						
人間生活学科	4	40	-	160	学士 (家政学)	0.90		平成13	福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	
栄養学科	4	90	-	360	学士 (家政学)	1.03		平成13	同上	
人間科学部						0.95	-			
人間発達学科	4	190	40	840						
人間発達学科	4	190	40	840	学士 (文学)	0.95		平成22	福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	
人間発達学専攻	4	130	-	520	学士 (文学)	0.93		平成22	同上	
人間基礎学専攻	4	60	40	320	学士 (文学)	0.99		平成22	同上	
大学全体	4	320	-	1360	-	0.97	-	-	-	

大学の名称	九州女子短期大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
子ども健康学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (教育学)	倍	-	平成23	福岡県北九州市八幡 西区自由ヶ丘1-1	
大学全体	2	150	-	300	-	0.86	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<経済学部 地域創造学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西尾 恵里子 (54) <平成31年4月> 博士(工学)
		福原学 職業とコミュニケーション キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 地域の教育と文化 職業研修A 職業研修B 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ※ キャリアコンサルティングⅠ キャリアコンサルティング 演習Ⅰ キャリアコンサルティング 演習Ⅳ
専	教授	西川 三恵子 (58) <平成31年4月> 修士(総合政策)
		福原学 職業とコミュニケーション おもてなし総論 職業研修A 職業研修B 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ※
専	教授	成富 勝 (61) <平成31年4月> 工学博士
		福原学 職業とコミュニケーション KKU北九州学 地域貢献概論 地域環境政策論 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ※
専	教授	西山 巨章 (62) <平成31年4月> 修士(学術)、修士(経営学)
		福原学 職業とコミュニケーション 簿記入門演習 初級簿記演習 地域協働論 ソーシャルビジネス論 地方自治体の財政 地域リーダー育成演習 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ 地域創造ゼミナールⅦ

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西尾 恵里子 (55) <平成31年4月> 博士(工学)
		福原学 職業とコミュニケーション キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 地域の教育と文化 職業研修A 職業研修B 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ※ キャリアコンサルティングⅠ キャリアコンサルティング 演習Ⅰ キャリアコンサルティング 演習Ⅳ
専	教授	西川 三恵子 (59) <平成31年4月> 修士(総合政策)
		福原学 職業とコミュニケーション おもてなし総論 職業研修A 職業研修B 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ※
専	教授	成富 勝 (62) <平成31年4月> 工学博士
		福原学 職業とコミュニケーション KKU北九州学 地域貢献概論 地域環境政策論 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ※
専	教授	西山 巨章 (63) <平成31年4月> 修士(学術)、修士(経営学)
		福原学 職業とコミュニケーション 簿記入門演習 初級簿記演習 地域協働論 ソーシャルビジネス論 地方自治体の財政 地域リーダー育成演習 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ 地域創造ゼミナールⅦ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	甘 長青 (48) <平成31年4月> 博士(経済学)
		福原学 職業とコミュニケーション 経済学概論 マクロ経済学 人口学 公共経済学 経済政策 金融論 ゲーム理論 チャレンジC 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ
専	教授	林山 誠晴 (45) <平成31年4月> 修士(教育学)
		福原学 職業とコミュニケーション スキルアップ講座G スキルアップ講座H 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ 地域創造ゼミナールⅦ
専	准教授	黒木 隆善 (36) <平成31年4月> 博士(文学)
		福原学 英語Ⅰ 英語Ⅱ イングリッシュワーク シヨップ 職業とコミュニケーション 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ チャレンジA チャレンジB 海外地域学研修 地域創造ゼミナールⅦ
専	准教授	尾上 百合加 (43) <平成31年4月> 修士(経営学)
		福原学 職業とコミュニケーション キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 地域のまちづくり入門 地域のまちづくり 地域リーダー育成演習 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ 地域創造ゼミナールⅦ キャリアコンサルティングⅢ キャリアコンサルティング 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	甘 長青 (49) <平成31年4月> 博士(経済学)
		福原学 <b>暮らしと経済</b> 職業とコミュニケーション 経済学概論 マクロ経済学 人口学 公共経済学 経済政策 金融論 ゲーム理論 チャレンジC 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ
専	教授	林山 誠晴 (46) <平成31年4月> 修士(教育学)
		福原学 職業とコミュニケーション スキルアップ講座G スキルアップ講座H 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ 地域創造ゼミナールⅦ
専	准教授	黒木 隆善 (37) <平成31年4月> 博士(文学)
		福原学 英語Ⅰ 英語Ⅱ イングリッシュワーク シヨップ 職業とコミュニケーション 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ チャレンジA チャレンジB 海外地域学研修 地域創造ゼミナールⅦ
専	准教授	尾上 百合加 (44) <平成31年4月> 修士(経営学)
		福原学 職業とコミュニケーション キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 地域のまちづくり入門 地域のまちづくり 地域リーダー育成演習 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ 地域創造ゼミナールⅦ キャリアコンサルティングⅢ キャリアコンサルティング 演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	貝掛 祥広 (40) <平成31年4月> 学士(商学)
		福原学 職業とコミュニケーション 簿記入門演習 初級簿記演習 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ チャレンジA チャレンジB 地域創造ゼミナールⅦ
専	講師	堂野崎 融 (39) <平成31年4月> 修士(社会情報)※
		福原学 職業とコミュニケーション 簿記入門 簿記入門演習 初級簿記 初級簿記演習 経営組織論 地域ワークショップ チャレンジA チャレンジB チャレンジC チャレンジD 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ
専	講師	大和(宮川) 裕美子 (36) <平成31年4月> 博士(比較社会文化)
		福原学 人権・同和教育 職業とコミュニケーション 質的調査法 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ 地域調査実習Ⅰ 地域調査実習Ⅱ 地域ワークショップ 地域創造ゼミナールⅦ
専	講師	大塚 知昇 (30) <平成31年4月> 博士(文学)
		福原学 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 職業とコミュニケーション 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ チャレンジC チャレンジD 海外地域学研修 地域創造ゼミナールⅦ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	貝掛 祥広 (41) <平成31年4月> 学士(商学)
		福原学 職業とコミュニケーション 簿記入門演習 初級簿記演習 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ チャレンジA チャレンジB 地域創造ゼミナールⅦ
専	講師	堂野崎 融 (40) <平成31年4月> 修士(社会情報)※
		福原学 職業とコミュニケーション 簿記入門 簿記入門演習 初級簿記 初級簿記演習 経営組織論 地域ワークショップ チャレンジA チャレンジB チャレンジC チャレンジD 地域創造ゼミナールⅠ※ 地域創造ゼミナールⅡ※ 地域創造ゼミナールⅢ※ 地域創造ゼミナールⅣ※ 地域創造ゼミナールⅤ※ 地域創造ゼミナールⅥ※ 地域創造ゼミナールⅦ
専	講師	大和(宮川) 裕美子 (37) <平成31年4月> 博士(比較社会文化)
		質的調査法 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ 地域調査実習Ⅰ 地域調査実習Ⅱ 地域ワークショップ 地域創造ゼミナールⅦ
専	講師	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	木村 美奈子 (52) <平成31年4月> 修士(工学)
		福原学 共生社会を生きる 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 職業とコミュニケーション スキルアップ講座A 統計学入門 ビジネスとICT 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ チャレンジD 地域創造ゼミナールⅦ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	田中 雅子 (48) <平成31年4月> 修士(文学)
		福原学 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語コミュニケーション Ⅰ 英語コミュニケーション Ⅱ TOEIC入門 海外研修 職業とコミュニケーション スキルアップ講座B スキルアップ講座C 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ チャレンジC チャレンジD 海外地域学研修 地域創造ゼミナールⅦ
専	講師	木村 美奈子 (53) <平成31年4月> 修士(工学)
		福原学 共生社会を生きる 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 職業とコミュニケーション スキルアップ講座A 統計学入門 ビジネスとICT 地域創造実習Ⅰ 地域創造実習Ⅱ 地域創造実習Ⅲ 地域創造実習Ⅳ 地域創造実習Ⅴ 地域創造実習Ⅵ チャレンジD 地域創造ゼミナールⅦ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 洋一 (59) <平成31年4月> 文学修士※
		ことばと異文化 ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	教授	黄 冬柏 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		ことばと異文化 中国語 I 中国語 II
兼任	教授	永松 美保 (57) <平成31年4月> 博士(学術)
		ことばと異文化 TOEIC入門
兼任	教授	田中 雄二 (50) <平成31年4月> 博士(工学)
		生命と地球
兼任	教授	田崎 権一 (66) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心の科学
兼任	教授	城戸 英敏 (68) <平成31年4月> 教育学士
		スポーツA スポーツB 健康の科学
兼任	教授	沙 秀程 (64) <平成31年4月> 教育学修士
		初級日本語 I A※ 初級日本語 I B
兼任	准教授	中山 伸介 (49) <平成31年4月> 博士(工学)
		生命と地球
兼任	准教授	Daniel Droukis (62) <平成31年4月> Master of Arts (米国)
		イングリッシュワーク ショップ
兼任	講師	大川内 夏樹 (34) <平成31年4月> 修士(文学)※
		ことばと日本文化 日本語表現法 I 日本語表現法 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 洋一 (60) <平成31年4月> 文学修士※
		ことばと異文化 ドイツ語 I
兼任	教授	黄 冬柏 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		ことばと異文化 中国語 I 中国語 II
兼任	教授	永松 美保 (58) <平成31年4月> 博士(学術)
		ことばと異文化 イングリッシュワーク ショップ
兼任	教授	田中 雄二 (51) <平成31年4月> 博士(工学)
		生命と地球
兼任	教授	田崎 権一 (67) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心の科学
兼任	教授	沙 秀程 (65) <平成31年4月> 教育学修士
		初級日本語 I A※ 初級日本語 I B
兼任	教授	中山 伸介 (50) <平成31年4月> 博士(工学)
		生命と地球
兼任	准教授	Daniel Droukis (63) <平成31年4月> Master of Arts (米国)
		イングリッシュワーク ショップ
兼任	講師	大川内 夏樹 (35) <平成31年4月> 修士(文学)※
		ことばと日本文化 日本語表現法 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古浦 修子 (36) <平成31年4月> 博士(文学)
		ことばと日本文化 日本語表現法Ⅰ
兼任	講師	鈴木 喬 (37) <平成31年4月> 博士(国際文化)
		ことばと日本文化 日本語表現法Ⅱ
兼任	講師	永次 健人 (33) <平成31年4月> 修士(文学)※
		ことばと異文化 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 海外研修 スキルアップ講座R スキルアップ講座S
兼任	講師	水井 雅彦 (45) <平成31年4月> 博士(工学)
		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ
兼任	講師	松崎 守利 (51) <平成31年4月> 修士(体育学)
		スポーツA スポーツB 健康の科学 インターンシップ(企業研 修)
兼任	講師	田中 雅子 (47) <令和2年4月> 修士(文学)※
		スキルアップ講座B スキルアップ講座C
兼任	准教授	辻 敏晴 (52) <平成31年4月> 体育学士
		スポーツA スポーツB
兼任	准教授	黄 春玉 (56) <平成31年4月> 博士(学術)
		初級日本語ⅡB 中級日本語Ⅰ 中級日本語Ⅱ 上級日本語Ⅰ 上級日本語Ⅱ
兼任	講師	櫻澤 葉子 (57) <平成31年4月> 文学修士
		ことばと日本文化

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古浦 修子 (37) <平成31年4月> 博士(文学)
		ことばと日本文化 日本語表現法Ⅰ
兼任	講師	鈴木 喬 (38) <平成31年4月> 博士(国際文化)
		ことばと日本文化 日本語表現法Ⅱ
兼任	講師	永次 健人 (34) <平成31年4月> <b>博士(文学)</b>
		ことばと異文化 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ スキルアップ講座R スキルアップ講座S
兼任	講師	松崎 守利 (52) <平成31年4月> 修士(体育学)
		健康の科学 インターンシップ(企業研 修)
兼任	准教授	辻 敏晴 (53) <平成31年4月> 体育学士
		スポーツA スポーツB
兼任	准教授	黄 春玉 (57) <平成31年4月> 博士(学術)
		初級日本語ⅡB 中級日本語Ⅰ 中級日本語Ⅱ 上級日本語Ⅰ 上級日本語Ⅱ
兼任	講師	櫻澤 葉子 (57) <平成31年4月> 文学修士
		ことばと日本文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大迫 正一 (57) <平成31年4月> 修士(芸術学)
		ことばと日本文化
兼任	講師	内田 満 (47) <平成31年4月> 学士(体育学)
		スポーツの文化
兼任	講師	鄭 俊如 (54) <平成31年4月> 博士(情報工学)
		情報文化論
兼任	講師	松尾 登史子 (43) <平成31年4月> 修士(哲学)※
		歴史と国際情勢
兼任	講師	鎌田 厚志 (41) <平成31年4月> 修士(法学)※
		歴史と国際情勢
兼任	講師	塩盛 俊明 (42) <平成31年4月> 修士(法学)※
		現代国家と法(日本国憲法)
兼任	講師	古澤 勝人 (46) <平成31年4月> Ph.D. in Politics (英国)
		現代国家と法(日本国憲法)
兼任	講師	渡部 忠信 (51) <平成31年4月> 修士(法学)
		暮らしと経済
兼任	講師	野見山 待子 (49) <平成31年4月> 修士(文学)※
		人間と哲学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
<b>兼任</b>	<b>准教授</b>	内田 満 (48) <平成31年4月> 学士(体育学)
		スポーツの文化
兼任	講師	鄭 俊如 (55) <平成31年4月> 博士(情報工学)
		情報文化論
兼任	講師	鎌田 厚志 (42) <平成31年4月> 修士(法学)※
		歴史と国際情勢
兼任	講師	塩盛 俊明 (43) <平成31年4月> 修士(法学)※
		現代国家と法(日本国憲法)
兼任	講師	渡部 忠信 (52) <平成31年4月> 修士(法学)
		暮らしと経済
<b>兼任</b>	<b>講師</b>	<b>井手 靖子 (49) &lt;平成31年4月&gt; 修士(比較社会文化)</b>
		<b>人権・同和教育</b>
兼任	講師	野見山 待子 (50) <平成31年4月> 修士(文学)※
		人間と哲学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浅田 正 (63) <平成31年4月> 理学博士
		生命と地球
兼任	講師	乗富 千代 (38) <平成31年4月> 修士(文学)
		心の科学
兼任	講師	山下 真里 (30) <令和2年4月> 博士(文学)
		伝わる文章力
兼任	講師	王 慶 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	李 大年 (41) <平成31年4月> 博士(日本社会文化)
		韓国語 I 韓国語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	乗富 千代 (39) <平成31年4月> 修士(文学)
		心の科学
兼任	講師	山下 真里 (31) <令和2年4月> 博士(文学)
		伝わる文章力
兼任	講師	森岡 章夫 (70) <平成31年4月> 文学修士
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	林 秀彦 (65) <令和元年9月> 文学修士
		ドイツ語 II
兼任	講師	呉 紅華 (55) <平成31年4月> 博士(文学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	崔 維卿 (50) <平成31年4月> 修士(比較社会文化)
		韓国語 I
兼任	講師	朴 明美 (58) <平成31年4月> 修士(文学)
		韓国語 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Nitin Datar (62) <平成31年4月> Juris Doctor (米国)
		イングリッシュワーク ショップ
兼任	講師	中島 久代 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		イングリッシュワーク ショップ
兼任	講師	太田 成俊 (60) <令和2年4月> 博士(工学)
		情報処理演習Ⅲ 情報処理演習Ⅳ
兼任	講師	満生 洋子 (42) <平成31年4月> 修士(文学)
		初級日本語ⅠA※ スキルアップ講座N スキルアップ講座O

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	桂 林春 (55) <令和元年9月> 商学士
		韓国語Ⅱ
兼任	講師	洪 鍾七 (59) <令和元年9月> 教育学修士
		韓国語Ⅱ
兼任	講師	太田 成俊 (61) <令和2年4月> 博士(工学)
		情報処理演習Ⅲ 情報処理演習Ⅳ
兼任	講師	市丸 直人 (57) <平成31年4月> 博士(体育学)
		スポーツA スポーツB
兼任	講師	西内 久人 (57) <平成31年4月> 体育学修士
		スポーツA スポーツB
兼任	講師	藤谷 順三 (52) <平成31年4月> 体育学修士
		スポーツA スポーツB
兼任	講師	満生 洋子 (43) <平成31年4月> 修士(文学)
		スキルアップ講座N スキルアップ講座O
兼任	講師	栗山 優希 (32) <平成31年4月> 修士(文学)
		初級日本語ⅠA※ 初級日本語ⅠC 中級日本語Ⅰ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井料 佐紀子 (42) <平成31年4月> 修士(文学)※ 初級日本語 I C 中級日本語 I 中級日本語 II 上級日本語 I 上級日本語 II
兼任	講師	方 如偉 (63) <平成31年4月> 教育学修士 初級日本語 I D 初級日本語 I E スキルアップ講座 N スキルアップ講座 O
兼任	講師	玉置 悦子 (68) <平成31年4月> 文学士 初級日本語 II A 初級日本語 II C 中級日本語 I 中級日本語 II 上級日本語 I 上級日本語 II スキルアップ講座 P スキルアップ講座 Q
兼任	講師	毛 瑩 (34) <平成31年4月> 博士(比較社会文化) 初級日本語 II D
兼任	講師	佐藤 もも (34) <平成31年4月> 修士(文学) 初級日本語 II E
兼任	講師	池内 秀己 (62) <平成31年4月> 商学修士※ 経営学概論 経営管理論 経営戦略論
兼任	講師	藪内 賢之 (49) <令和2年9月> 博士(工学) 統計学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	幣 亜由美 (48) <平成31年4月> 学士(教育学) 初級日本語 I A※ 初級日本語 II C
兼任	講師	井料 佐紀子 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※ 初級日本語 I C 中級日本語 II 上級日本語 I 上級日本語 II
兼任	講師	方 如偉 (64) <平成31年4月> 教育学修士 初級日本語 I D 初級日本語 I E スキルアップ講座 N スキルアップ講座 O
兼任	講師	玉置 悦子 (69) <平成31年4月> 文学士 初級日本語 II A 初級日本語 II C 中級日本語 II 上級日本語 I 上級日本語 II スキルアップ講座 P スキルアップ講座 Q
兼任	講師	毛 瑩 (35) <平成31年4月> 博士(比較社会文化) 初級日本語 II D
兼任	講師	佐藤 もも (33) <平成31年4月> 修士(文学) 初級日本語 II A 初級日本語 II E
兼任	講師	平田 直子 (49) <平成31年4月> 高等学校卒 中級日本語 I
兼任	講師	池内 秀己 (63) <平成31年4月> 商学修士※ 経営学概論 経営管理論 経営戦略論
兼任	講師	藪内 賢之 (50) <令和2年9月> 博士(工学) 統計学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	尾道 博 (69) <令和3年4月> 修士(商学)※ 地域経済論
兼任	講師	新鞍 拓生 (49) <令和2年9月> 修士(商学) 日本経済史 経済史
兼任	講師	後藤 浩士 (50) <令和2年4月> 修士(法学)、修士(商学) 民法 行政法 会社法
兼任	講師	篠原 さやか (37) <令和2年4月> Ph. D. in Sociology (米国) 社会調査法 社会調査法演習
兼任	講師	宮本 昌典 (65) <令和2年4月> 経済学修士※ 財政学 社会保障論
兼任	講師	永淵 美法 (51) <令和4年9月> Master of Science(米国) 地域の健康福祉
兼任	講師	國崎 歩 (33) <令和3年4月> 博士(経済学) 流通管理論 マーケティング論
兼任	講師	小嶋 寿見子 (70) <令和3年4月> 高等学校卒 事業創造論 事業創造演習
兼任	講師	前田 恵美 (44) <平成31年4月> 修士(学術) 文章理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	尾道 博 (70) <令和3年4月> 修士(商学)※ 地域経済論
兼任	講師	新鞍 拓生 (50) <令和2年9月> 修士(商学) 日本経済史 経済史
兼任	講師	後藤 浩士 (51) <令和2年4月> 修士(法学)、修士(商学) 民法 行政法 会社法
兼任	講師	篠原 さやか (38) <令和2年4月> Ph. D. in Sociology (米国) 社会調査法 社会調査法演習
兼任	講師	宮本 昌典 (66) <令和2年4月> 経済学修士※ 財政学 社会保障論
兼任	講師	永淵 美法 (52) <令和4年9月> Master of Science(米国) 地域の健康福祉
兼任	講師	國崎 歩 (34) <令和3年4月> 博士(経済学) 流通管理論 マーケティング論
兼任	<b>教授</b>	小嶋 寿見子 (71) <令和3年4月> 高等学校卒 事業創造論 事業創造演習
兼任	講師	前田 恵美 (45) <平成31年4月> 修士(学術) 文章理解

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村田 祐貴子 (53) <平成31年4月> 修士(法律学)
		社会科学【基礎】 社会科学【応用Ⅰ】 社会科学【応用Ⅱ】 教養基礎答練Ⅰ※ 教養基礎答練Ⅱ※ (K-CIP) 行政学・経営学 演習 (K-CIP) 政治学演習 (K-CIP) 国際関係演習 (K-CIP) 社会学・社会事 情演習 (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅰ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅱ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)※
兼任	講師	前田 智成 (47) <令和元年9月> 学士(法学)
		人文・自然科学【基礎】※ 教養基礎答練Ⅰ※ 教養基礎答練Ⅱ※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅰ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅱ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)※
兼任	講師	橋本 武徳 (40) <令和元年9月> 学士(工学)
		人文・自然科学【基礎】※ 教養基礎答練Ⅰ※ 教養基礎答練Ⅱ※ (K-CIP) 会计学演習 (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅰ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅱ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)※
兼任	講師	若山 祐紀憲 (37) <平成31年4月> 修士(工学)
		数の処理Ⅰ 数の処理Ⅱ 数の処理Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	村田 祐貴子 (54) <平成31年4月> 修士(法律学)
		社会科学【基礎】 社会科学【応用Ⅰ】 社会科学【応用Ⅱ】 教養基礎答練Ⅰ※ 教養基礎答練Ⅱ※ (K-CIP) 行政学・経営学 演習 (K-CIP) 政治学演習 (K-CIP) 国際関係演習 (K-CIP) 社会学・社会事 情演習 (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅰ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅱ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)※
兼任	講師	前田 智成 (48) <令和元年9月> 学士(法学)
		教養基礎答練Ⅰ※ 教養基礎答練Ⅱ※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅰ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅱ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)※
兼任	講師	鳥 一弘 (63) <令和元年9月> 文学士
		人文・自然科学【基礎】 ※
兼任	講師	橋本 武徳 (41) <令和元年9月> 学士(工学)
		教養基礎答練Ⅰ※ 教養基礎答練Ⅱ※ (K-CIP) 会计学演習 (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅰ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅱ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)※
兼任	講師	松ヶ下 剛士 (56) <平成31年4月> 高等学校卒
		人文・自然科学【基礎】 ※ 数の処理Ⅰ 数の処理Ⅱ
兼任	講師	若山 祐紀憲 (38) <平成31年4月> 修士(工学)
		数の処理Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平松 勇樹 (32) <令和2年4月> 学士(経済学)
		教養基礎答練Ⅰ※ 教養基礎答練Ⅱ※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅰ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅱ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)※ (K-CIP) 一次対策(直前模試) (K-CIP) 二次対策
兼任	講師	西嶋 久視 (42) <令和2年4月> 学士(法学)
		(K-CIP) 憲法演習 (K-CIP) 民法(総則、物権)演習 (K-CIP) 民法(債権、親族・相続)演習 (K-CIP) 行政法演習 (K-CIP) 労働法演習 (K-CIP) 刑法演習 (K-CIP) 専門科目演習 (行政職)※ (K-CIP) 専門科目記述式演習(行政職)
兼任	講師	柏木 士郎 (46) <令和2年4月> 修士(経済学)※
		ミクロ経済学 (K-CIP) ミクロ経済学演習 (K-CIP) マクロ経済学演習 (K-CIP) 財政学・経済事情演習 (K-CIP) 専門科目演習 (行政職)※
兼任	講師	郷原 義史 (38) <平成33年4月> 学士(理学)
		(K-CIP) SPI演習(行政職Ⅰ) (K-CIP) SPI演習(行政職Ⅱ)
兼任	講師	安部 省吾 (51) <令和3年4月> 理学士
		キャリアコンサルティングⅠ キャリアコンサルティングⅢ キャリアコンサルティング演習Ⅰ キャリアコンサルティング演習Ⅳ
兼任	講師	田中 邦博 (69) <令和3年4月> 博士(工学)
		キャリアコンサルティングⅡ キャリアコンサルティングⅣ キャリアコンサルティング演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平松 勇樹 (33) <令和2年4月> 学士(経済学)
		教養基礎答練Ⅰ※ 教養基礎答練Ⅱ※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅰ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (公安職Ⅱ)※ (K-CIP) 教養科目演習 (行政職)※ (K-CIP) 一次対策(直前模試) (K-CIP) 二次対策
兼任	講師	西嶋 久視 (43) <令和2年4月> 学士(法学)
		(K-CIP) 憲法演習 (K-CIP) 民法(総則、物権)演習 (K-CIP) 民法(債権、親族・相続)演習 (K-CIP) 行政法演習 (K-CIP) 労働法演習 (K-CIP) 刑法演習 (K-CIP) 専門科目演習 (行政職)※ (K-CIP) 専門科目記述式演習(行政職)
兼任	講師	柏木 士郎 (47) <令和2年4月> 修士(経済学)※
		ミクロ経済学 (K-CIP) ミクロ経済学演習 (K-CIP) マクロ経済学演習 (K-CIP) 財政学・経済事情演習 (K-CIP) 専門科目演習 (行政職)※
兼任	講師	郷原 義史 (39) <平成33年4月> 学士(理学)
		(K-CIP) SPI演習(行政職Ⅰ) (K-CIP) SPI演習(行政職Ⅱ)
兼任	講師	安部 省吾 (52) <令和3年4月> 理学士
		キャリアコンサルティングⅠ キャリアコンサルティングⅢ キャリアコンサルティング演習Ⅰ キャリアコンサルティング演習Ⅳ
兼任	講師	田中 邦博 (70) <令和3年4月> 博士(工学)
		キャリアコンサルティングⅡ キャリアコンサルティングⅣ キャリアコンサルティング演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長井 恵美 (53) <令和2年4月> 高等学校卒
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアコンサルティング Ⅱ キャリアコンサルティング Ⅳ キャリアコンサルティング 演習Ⅱ キャリアコンサルティング 演習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長井 恵美 (54) <令和2年4月> 高等学校卒
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアコンサルティング Ⅱ キャリアコンサルティング Ⅳ キャリアコンサルティング 演習Ⅱ キャリアコンサルティング 演習Ⅲ

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割編成における授業科目担当者の追加「甘 長青」</li> <li>・専任教員の育児休業による授業科目担当者の変更「大和(宮川)裕美子」</li> <li>・専任教員の退職による担当者の変更「田中 雅子」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「山本 洋一」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「永松 美保」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「城戸 英敏」</li> <li>・昇任に伴う職名の変更「中山 伸介」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「大川内 夏樹」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更及び保有学位等の変更「永次 健人」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「水井 雅彦」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「松崎 守利」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「櫻澤 葉子」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「大迫 正一」</li> <li>・平成31年4月にスポーツ学部専任教員としての採用により、職名等の変更「内田 満」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「松尾 登史子」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「古澤 勝人」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「井手 靖子」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「浅田 正」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「森岡 章夫」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「林 秀彦」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「王 慶」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「呉 紅華」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「李 大年」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「崔 維卿」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「朴 明美」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「桂 林春」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「洪 鍾仁」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「Nitin Datar」</li> <li>・就任辞退に伴う授業科目担当者の変更「中島 久代」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「市丸 直人」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「西内 久人」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「藤谷 順三」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「満生 洋子」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「奥山 優希」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「幣 亜由美」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「井科 佐紀子」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「玉置 悦子」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「佐藤 もも」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「平田 直子」</li> <li>・平成31年4月に経済学部地域創造学科の特別客員教員としての採用により、職名の変更「小嶋 寿見子」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「前田 智成」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「島 一弘」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「橋本 武徳」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「松ヶ下 剛士」</li> <li>・時間割編成における授業科目担当者の変更「若山 祐紀憲」</li> </ul>
---

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **既かで設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
6	3	4	0	13	6	3	4	0	13
(6)	(3)	(4)	(0)	(13)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
6	3	4	0	13	6	3	4	0	13
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授 65 その他 60 歳	0 名	2 [ 0 ] 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	講師	大塚 知昇	H31.3	必修	福原学	①	H31.3-一身上の都合により退職のため就任辞退（元）		
				必修	英語Ⅰ	①			
				必修	英語Ⅱ	①			
				選択	英語コミュニケーションⅠ	①			
				選択	英語コミュニケーションⅡ	①			
				必修	職業とコミュニケーション	①			
				必修	地域創造実習Ⅰ	①			
				必修	地域創造実習Ⅱ	①			
				必修	地域創造実習Ⅲ	①			
				必修	地域創造実習Ⅳ	①			
				選択	地域創造実習Ⅴ	①			
				選択	地域創造実習Ⅵ	①			
				選択	チャレンジC	①			
				選択	チャレンジD	①			
選択	海外地域学研修	①							
必修	地域創造ゼミナールⅦ	①							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	16 科目	計	16 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	7 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	16 科目	計	16 科目	計	0 科目	計	0 科目



(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 専任講師1人の退職については、設置前年度末であったため、新たに専任講師を配置したことから、専任教員交代に係る学生への影響はなかった。このため、学生への周知は行っていない。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時  (平成30年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<経済学部 地域創造学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大学設置基準第25条第3項に基づき、「九州共立大学ファカルティ・ディベロップメント（以下、「FD」という。）委員会規程」を制定し、組織的なFD活動を展開している。このFD委員会は、全学的組織として学長を委員長とし、教育の質的向上・授業改善等に向けた諸施策の企画・立案、FDに係る研究会および講習会の企画・運営、学生による授業評価等の企画・実施・改善を担っている。</p> <p>九州共立大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程(平成20年3月19日施行)</p> <p>第1条 九州共立大学評議会規則(平成4年学園規則第2号)第8条に基づき、九州共立大学ファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「FD委員会」という。)を置く。</p> <p>第2条 FD委員会は、建学の精神及び教育理念・目的に立脚し、教育内容等の向上に資するため、組織的な研修及び研究を実施することを目的とする。</p> <p>第3条 FD委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議する。</p> <p>(1) 教育の質的向上に向けた諸施策の企画、立案及び実施に関する事項</p> <p>(2) 研究会及び講習会の企画及び運営に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価等の企画、実施及び改善に関する事項</p> <p>(4) その他必要と認められた事項</p> <p>第4条 FD委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。</p> <p>(1) 学長</p> <p>(2) 副学長</p> <p>(3) 各学部長</p> <p>(4) 研究科長</p> <p>(5) 教務部長</p> <p>(6) 共通教育センター所長</p> <p>(7) 事務局長</p> <p>(8) 学長が推薦する教育職員 若干名</p> <p>2 前項に定める委員のほか、学長が必要と認められた職員を委員に加えることができる。</p> <p>第5条 前条第1項第8号及び第2項に定める委員の任期は、学長が別に定める。</p>
--

第6条 FD委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

2 委員長は、必要に応じてFD委員会を招集する。

3 FD委員会の議長は、教務部長とし、FD委員会を運営する。

4 委員長に事故のあるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

第7条 FD委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。

2 FD委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長は、必要に応じて、委員以外の職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

第8条 FD委員会は、第3条の各号に掲げる事項を実施するために、必要に応じて小委員会を設置することができる。

2 小委員会の運用に関し必要な事項は、別に定める。

第9条 FD委員会の事務は、教務課において処理する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年5月19日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年11月15日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年5月17日から施行し、同年4月1日より適用する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

第1回FD委員会開催予定：令和元年5月末（委員10名）

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育の質的向上に向けた諸施策の企画、立案及び実施に関する事項
- ・ 研究会及び講習会の企画及び運営に関する事項
- ・ 学生による授業評価等の企画、実施及び改善に関する事項
- ・ その他必要と認めた事項

② 実施状況（各学部）

a 実施内容

- ・ FD・SD研修会（年2回開催）
- ・ 授業参観（年1回）
- ・ FDハンドブック作成
- ・ 授業改善報告書の作成

b 実施方法

- ・ FD研修会  
大学全体1回、各学部1回の年2回、全体実施においては学外講師を招いて講演形式で研修会を開催している。
- ・ SD研修会  
教職員参加の大学全体のFD・SD研修会1回、事務局職員対象のSD研修会1回、全体実施においては学外講師を招いて講演形式で研修会を開催している。

- ・授業参観(年1回)  
前期または後期のいずれかの学期で最低1科目の参観を行い、参観報告書を提出。提出された報告書は公開している。
- ・FDハンドブック作成  
教員の資質と能力向上にむけて、授業展開するにあたり留意すべき基本的な姿勢や考え方を示した授業実施に関するマニュアルで、非常勤講師を含めた全教員に配布している。年々の活動の振り返りによる授業改善等の事例なども盛り込み、年々の内容等の充実等、改訂を重ねている。
- ・授業改善報告書の作成  
授業評価アンケートの集計結果を踏まえてアンケートを実施した全教員に「授業評価改善報告書」の提出を義務化し、次期の授業改善へフィードバックされる取り組みを行っている。

c 開催状況(教員の参加状況を含む)

- ・FD・SD研修会(年2回開催)  
平成30年度 全教員参加
- ・授業参観(年1回)  
平成30年度 全教員参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業改善への取り組みの結果については、学生からの評価である授業評価アンケートの評価ポイントの平均値に現れるとの考えから、授業評価アンケートの評価結果の平均値4.0ポイント(満点は5.0ポイント)の目標を掲げ、学生満足度を向上するよう努めている。授業評価アンケート結果の評価ポイントの平均値は継続的に上昇傾向にある。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期・後期年2回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの集計結果は各教員に配布し、教務課で教員・学生が閲覧できるようにしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学が位置する北九州市は政令都市であるが、高い高齢化率および人口減少の問題を抱えており、これは同市に隣接する市町村を含めた地域全体の問題でもあり、地域産業の衰退、地域文化の希薄化等、解決すべき多くの課題を生み出している。

このような社会情勢の中で、大学等の高等教育機関に期待される役割は、地域貢献活動やボランティア活動にとどまらず、産学官連携等による地域に根差した実践的な教育・研究活動をとおして、地域振興や魅力ある街づくりを担うことのできる人材を養成することを経済学部地域創造学科設置の趣旨としている。さらに、同学科は、経済・経営学の科目を基盤に、地域創造に関する専門的知識を学び、PBL(Problem-Based Learning)やアクティブラーニング型の授業を重視した教育課程により、地域を構成する多様なステークホルダーと行動し地域社会の振興と発展に寄与できるより実践力を身に付けた人材の養成を目的としている。

今年度の入学者に対し、設置の趣旨・目的に沿った教育の実施に邁進する。

入学者の選抜については、適切に行っており、入学定員確保に向け、本学科の魅力をより強力に発信し、認知度の向上に努める。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・令和元年度自己点検評価書 令和2年3月 公表予定

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（令和2年3月末）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けたため、7年以内に受審すべく学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年9月中旬を予定)

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。